

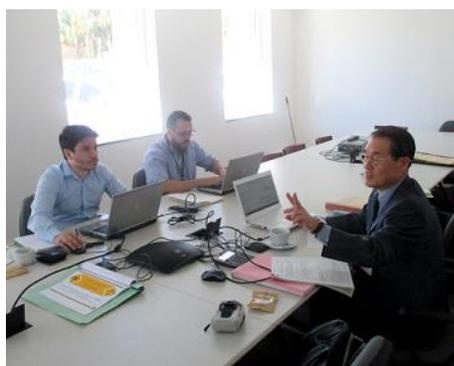
ブラジルに対する省エネ支援事業（第2次専門家派遣）を実施しました。

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、経済産業省の委託を受け、ブラジルの省エネ推進のために、以下のプログラム協力を3年計画（平成27年～平成29年度）で実施中です。

- (1) 協力工場（4工場）でのISO50001に基づくモデル的エネルギー管理体系の構築普及。
- (2) エネルギー管理規則や省エネ推進支援制度の整備や改善の提案作成。
- (3) 節電・ピークカットの為にアクションガイドブックの策定と普及。

ECCJは2017年11月13～17日に専門家派遣を実施し、事業完了に向けた活動状況の確認と支援活動を実施しました。



- (1) ISO50001に基づくモデル的エネルギー管理体系の構築に関して、亜鉛精錬、自動車製造、セメント製造の3協力企業を対象に、エネルギー管理システム（EnMS）の普及報告書の作成助言を行ないました。各社が作成した「普及報告書」の草案内容に関して、ECCJが事前に送付したコメントに沿って、改善に向けた協議と助言を行ないました。

普及報告書については、来年2月に予定している普及セミナーの前までに完成させることを確認しました。

加えて、ブラジル政府及び国家産業連盟（CNI）を始めとする産業団体とともに、協力企業が確立したモデル的なエネルギー管理システムと省エネに有効な改善事例の普及方案について協議しました。また、CNIが本事業を通じて確立した産業部門省エネ推進に関する自主プログラムを通じて来年度以降成果を出していく方針を提案しました。

- (2) エネルギー管理制度の策定や省エネ推進支援制度の整備に関して、ECCJは連邦政府関係省庁およびサンパウロ州政府の関係者からなるワーキンググループによる活動状況を確認し、検討内容について助言するとともに、最終的な提案をドキュメント化するためのガイド案を作成し協議しました。更に、このエネルギー管理制度および省エネ支援策の改善に関する提案書の年度内作成予定に加え、来年度以降のブラジル政府による法制化のロードマップも協議し、年度内に作成することを確認しました。

- (3) 節電・ピークカットの為にアクションガイドブックの策定と普及に関し、政府メンバーを始めとする作業グループメンバーと草案の進捗を確認しました。アクションガイドは産業部門用を優先し、特に対象とする中小企業が理解し使いやすい内容とし2018年1月中の完成を目指します。このアクションガイドを、現在国家産業訓練機関（SENAI）が実施している中小企業の生産性向上プログラムの参加企業300社の協力を得て使用・評価をしてもらう方針を商工省とも確認しました。

以上のように(1)～(3)に対する取り組みは確実に進捗して効果を上げています。

次回は平成30年2月に再び現地を訪問して成果の普及ワークショップの実施を始めとする本事業の最終纏めを行なう予定です。